【入帖フリー】

注 文 書

書店名 ・ 帳合 ・ 番線

年　月　日

注文部数　冊

発売：本の泉社

憲法と現実政治

日本科学者会議 編

ISBN978-4-7807-0246-0
C0032

定価：2940 円(税込)
本体 2800 円+(税)

電話　氏名　住所
〒

5 月の最新刊 !!

◆予約受付中◆

憲法と現実政治

日本科学者会議 編

憲法制定から 65 年を経ようとしている。今年 2010 年は、現行日米安保条約 50 年の節目の年である。こうしたなかで、日本国民は普天間基地問題に向かい合っている。
一方、人権が剥奪・侵害される「格差社会」がひろがり、その克服が焦眉の課題となっている。
本書は、各分野の科学者・研究者が精魂を込めて執筆、月刊『日本の科学者』に掲載されたものの集大成であり、憲法の基本原則を多角的に論じた類書のない一冊である。

本の泉社

本書は、各分野の科学者・研究者（32 氏 33 編）が精魂を込めて執筆、月刊『日本の科学者』に掲載されたものの集大成であり、憲法の基本原則を多角的に論じた類書のない一冊である。

日本科学者会議は，憲法問題の重要性に鑑み，憲法問題特別研究会を設置し，シリーズ・シンポジウムを開催してきた．それと平行して，本会の発行する月刊誌『日本の科学者』に，2007 年 3 月号より 2010 年 3 月号までほぼ毎月にわたって，憲法問題に関する論文を掲載してきた．憲法の専門家を始め，広範な他分野の研究者の参加を得て連載された論文は 33 本に上る．本会の会員や読者から，いずれも多彩な問題意識に基づく臨場感溢れる論考で，日本科学者会議らしい企画だった，との声が期せずして寄せられている．そこで，広く会外の方々にも読んでいただき，いろいろ御意見を寄せていただけるなら，と考えて，世に問うことに致した次第である．

（『はじめに』より）

目 次

はじめに ● 北村　実

〈1〉民主主義と憲法
憲法改正手続をめぐる本質的対立点 ● 奥野恒久
「安全・安心」と憲法 ● 清水雅彦
日本国憲法の論理と戦時下自由主義者清沢洌 ● 山本義彦
地方自治の再編と憲法改正論 ● 日詰一幸
地方自治条項の改憲と道州制問題 ● 進藤　兵

〈2〉平和と憲法
成立の〈原点〉から考える憲法 9 条の平和構想 ● 河上暁弘
米兵――反戦運動の焦点 ● 山口　響
憲法 9 条改悪論議の歴史と現状 ● 小沢隆一
平和主義の先駆 ● 北村　実　93
日本国憲法の普遍的原理としての第 9 条 ● 浦田賢治
シオニズムと黙認のはざまで ● 清末愛砂
若者大衆文化への浸透を図る自衛隊 ● 山口　響
軍隊のない国家で憲法第 9 条を考える ● 前田　朗
イラク派兵違憲名古屋高裁判決の今日的意義 ● 小林　武
政府の平和主義解釈とその変更 ● 浦田一郎
対テロ戦争と憲法学 ● 大河内美紀
憲法九条を世界に生かす ● 新倉　修
平和的生存権論の現段階 ● 奥野恒久

〈3〉人権と憲法
今日の改憲構想と自由論の課題 ● 横田　力
政治活動の自由と民主主義の現在 ● 小沢隆一
『教育改革』による教育をめぐる諸人権の制約 ● 寺川史朗
国旗国歌訴訟における思想・良心の自由 ● 澤藤統一郎
ジェンダー平等と改憲構想 ● 齊藤笑美子
生存権裁判と憲法 25 条 ● 井上英夫
雇用・労働の今日的状況と現代改憲論 ● 北川善英
社会保障裁判 50 年の歩みと現段階 ● 新井　章
立川反戦ビラ事件と表現の自由 ● 石埼　学
公共の福祉と経済的自由 ● 多田一路
24 条改憲論と家族の現状 ● 杉井静子
障害児の性的自律と教育人権 ● 児玉勇二
子どもたちの声，新学習指導要領，憲法 ● 田中孝彦
普遍的な最低生活保障の不在と憲法 25 条 ● 後藤道夫
憲法と教育 ● 堀尾輝久

あとがき ● 浦田一郎

●判形　A5判・368 頁　●定価　2940 円(税込)　●ISBN978-4-7807-0246-0　●お求めは、お近くの本屋さんか本の泉社へご注文ください

(株)本の泉社　〒113-0033　東京都文京区本郷2-25-6　Tel.03-5800-8494　Fax.03-5800-5353
http://www.honnoizumi.co.jp/　mail@honnoizumi.co.jp